

あすなろ

発行: 神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階
TEL/FAX 045-441-3901 URL <https://kana-chie.com>

第68号

2023年3月発行

桜の花の頃

満開の桜の花の下、
みなさんは
どんなお花見を
過ごされたでしょうか
神奈川県内にも、
町々に美しい桜の木が
たくさんありますね。
訪れる春の便りに集う
かめっ子のみなさんの
笑顔が浮かびます。

そして、迎える新年度。
「赤ちゃんだった子が
歩ける頃には、保育園へ入園。
子育てのはじめの一步の
頃に、近所にかめっ子さん
があつて、親も子も
本当に救われました♡」
「元気でね! 機会が
あったら遊びに来てね」
そんな会話が飛び交い、
また、新たな親子との出会いが
待っている……
支え手さんとして還つて
きてくれる嬉しいニュースに
23年の重みを感じます。



今年度最後の訪問は、羽沢宮向地区にお邪魔しました。

自転車を押しながら、坂を登ってみると、同じように子ども
を抱っこして歩いている親御さんに出会いました。

「坂道が多い地域だけど、かめっ子には、頑張って、時間を
かけてでも出かけている◎」と話してくれました。

会場は、テントや滑り台等、大型遊具を置いても、
まだスペースがある、広々とした空間でした。

支え手さんと子どもの、自然で温かいやりとりが、
あちこちで見られる親子のたまり場でした。

親子のたまり場訪問

参加者の方たちからの声…

- ◎近くに、いくつかかめっ子があつて、開催日も違うし、
予約が要らないので、行きたい時に行けて、利用しやすい。
- ◎同い年の子どもたちと知り合いになれて、親子で助かっています。
- ◎徒歩圏内に、かめっ子・子育て支援日・しゅーくるーむがあり、
手探り状態の子育ての中、愚痴ったりできるので、頑張れます。

支え手の方にインタビューすると…

- ◎私自身もかめっ子でお世話になりながらの子育てでした。知り合いに
「いっしょに支え手にならない」と誘うと、みんながOKしてくれました♡
支え手同士が、かめっ子からの知り合いなので、学校のことや子育て
の話ができて、自分たちの話し合いの「場」にもなっています♪
- ◎仕事を持っている人がほとんどで、調整しながら続けていきたい!



2歳児が多い
そうです!



大人が楽しく知ろう！

子どもとメディアのトリセツ

講師：実践女子大学人間社会学部
人間社会学科教授
駒谷真美氏



スマートフォンやタブレットなど、新しいメディア環境で育っている子どもたち。いつでもどこでもつながる時代に、影響はないのか、どれくらい見せていいのか、その付き合い方には悩まされます。長年「子どもとメディア」について研究されている駒谷先生に、その関わり方について伺いました。

親子とメディアの実際を知っておこう



親は、デジタルネイティブ世代

- ・TV、PC、携帯、マルチデバイスなど、次々生まれるメディアを、受け入れながら大人になった世代
- ・今は9割の人がスマートフォンを使用

子どもたちは

ソーシャルネイティブ世代！

- ・生まれた時から様々なメディアがあり乳幼児期から手にしている世代
- ・乳幼児期でも試し行動で操作を覚える
- ・今は学校でもメディアを活用

こう違います！
子どもはもっと先をいっている

成長発達の段階とメディア

初めて期（乳児期）：見るというより反応の時期 注視、関心芽生え、自分から接近していく。
モヤモヤ期（幼児前期）：見た目で判断の時期 子どもにとって映っているものはリアル。
（大人が窓の外を見たのと同じような感覚）
あやふや期（幼児後期）：理解の開始（4歳頃～）画面の中が現実とは限らないとわかり始め、他者視点を持ち始める。

メディアの落とし穴も知ろう

新しいメディアは、子どもへの影響をいつも心配されて注意喚起の対象になってきました。

20年前はテレビ
10年前からは
スマホ

でも親は、昔も今も
“ちょっとだけ”
“これだけね”

など工夫して、1つの

コミュニケーションツールとして取り入れてきました。

本当に心配なのはココ！



- ◆長時間の使用
- ◆画面と近距離での使用
- ◆無防備な接触
- ◆視力に影響する3D映像！
- ◆個人写真の無断転用！
- ◆いつかその日が来る！

夢中になり
没頭すると
なりがち！

「自分のスマホが欲しい!!!」

～質問から～

Q どのくらいの時間が適切といえるのでしょうか？

A 子どもの年齢など各々の生活時間から考える、でしょうか。大きな子どもなら、自分でタイムマネジメントをできるようになることが、その子の力、学力につながる面もあります。

Q 暴力的な映像やゲームは・・・？

A 影響はあるかと思います。怖く感じたり……。その時に、大人がそばで気持ちを分かち合うことができます。「うわっ怖い」「危ないね」といった大人の言葉は、子どもを向社会行動へと繋げていきます。包丁と同じです。使い方をすることが大切です。親が手本となってほしいと思います。

楽しく上手な付き合い方を考えよう

- ◆乳母車期(0~1歳)： 親がゲートキーパー！ここからスタート！
1歳までは親が作るペアレントコントロールで

保護者
子ども

- ◆三輪車期(1~5歳)： フィルタリングなどによる制限を使い、

保護者と一緒に利用する

Parents as first teacher 親が手本に
3D映像は止めよう

保護者 子ども 機械的
制限

技・アイデアいろいろ

- ◇You tubeではなく、You tube kidsなどで、がつり設定をする
- ◇時間の目安は、NHKの子供向けプログラムの1コーナーを参考にしてみる
- ◇視聴内容を、事前に確認しておく、履歴で確認する
- ◇子どもモードのアプリを利用する
(多様性を知ることができたり、“らしさ”を覆すような遊びアプリがあったり)
- ◇終わりの合図は、「スマホが熱くなったらおしまいね」といったわかりやすい声掛けを
“スマホのおふとん”のようなわかりやすい小物を活用するのも手♪



先輩の知恵！
参考になります

メディアールの基本のポイント

- ◆メディアールは使う前に！が大切
- ◆とにかく親子でいつでも気軽に話せる場を！
- ◆見せっぱなしにせず、一緒に考える関係で
- ◆禁止はアンダーグラウンド化の危険も！
話し合いながら、子どもの成長に応じて、
メディアールに添って解除していく

元祖！親が作ったメディアール

Gregory's iphone Contract

(要約です)

- ・スマホは親の私が買い、子のあなたに貸します
- ・親がパスワードを管理します
- ・友だちとは、通信だけでなく直接話してください
- ・面と向かって言えない事は、スマホでも言わない
- ・プライベートゾーンは絶対に見せない
- ・スマホがなくても、一人でも大丈夫でいてください
- ・使ってもいい、でも実際の体験もしてください
- ・失敗したら、また一緒に学び、リスタートしましょう

～参加者の声～

- ♥今日は貴重なお話をありがとうございました。
「スマホ、メディアの見せすぎは良くない！」という講演
なのかな？と参加しましたが、メディアを否定するこ
となく、今の時代の子育てに寄り添ってくれる内容
で、少し気楽な気持ちになりました。メディアのルー
ルを家族で話し合い、上手に付き合っていきたいと
思います。そして、”parents as first teachers
”メディアの使い方だけでなく、自分の行動を
意識してみます。
- ♥長女に合わせて下の子たちもテレビ、You tube を
見てしまい、見せ過ぎなのではと心配していました。
メディアに任せっぱなしではなく、親もその場で一緒
に見たり、共有することで、親子のコミュニケーション
ツールになると分かり安心しました。
バランスを大切にしたいと思います。

- ♥我が家はメディア反対派の夫と、ルールを守って
使う私の意見が対立することが、毎日のようにあり
苦悩しています。動画やゲームをルール時間内に
終わらせることは子どもにとって難しいと思いますが、
そこをいかにうまく行動させるかが
親の努力の見せどころだと思いました。

- ♥メディアに制限をかける方法のあることがわかり
良かったです。でも私はメディアを使った育児に反
対です。子どもが不機嫌にいること、泣くことが許
されなくなる風潮が怖いです。泣くことは子どもの
訴え。それに応える親の努力する機会がなくなって
しまう。子どもが泣いてもいいんだよと安心させて
あげられる社会になってほしいなと思いました。

新企画

かなさんぽ



ハマハグ 店舗で
早速ランチ
をしたとか？



“わがまち自慢”が
たくさん飛び出しました。



妊娠期から、子育て初期の親御さんに向けて、
地域の子育て支援の場を紹介したい！
顔と顔がつながる機会をつくりたい！と、始まった「かなさんぽ」。
地域の助産師さん、
地域で子育て支援をしている方々（すくすくかめっ子・外遊び応援
隊、学齢期の居場所など）、子育て支援者、
親と子のつどいの広場、ケアプラザ職員と一緒に、
地域の様々な場を巡りました。

かめっ子会場、公園、プレイパーク、ハマハグ（子育て家庭応援
事業）のお店、保育園・幼稚園、民間の場、つどいの広場、野菜売り
場に至るまで、

「うちの地域には、いろんな場所があるんだね～」「HP やチラシで
は見たけど、実際行ったのは初めて」等々の感想が、参加者だけ
でなく、一緒に歩いた地域の方たちからも寄せられました♪
外を歩きながら、清々しくリラックスした雰囲気の中で、
参加者と地域の方々が、おしゃべりを楽しみました♪
最後は、室内で、改めて自己紹介したり、感想を伝え合ったり、
助産師さんからの話を伺ったり。

「次回は、地域の場で、会いましょう～♪」と解散しました～

かめっ子や公園遊び等
実際に出向いてみました



今年度巡ったエリアは：
神奈川・幸ヶ谷・入江・新子安
神之本・白幡・神大寺・三ツ沢
片倉地区でした。
地域の「支え手デビュー講座」では、
反町・鳥越地区も巡りました。



かめっ子の支え手さんとは、
最初から一緒に企画し、
コースを考えたり、
下見をしたり、
その過程も楽しい時間でした



【編集後記】

今年度は、3年振りに、
方面別交流会も、
全体研修会も、
開催できました♪

「対面で話す😊」ことで
モヤモヤしていた
心配ごとが消えたり、
かめっ子の大切さを
実感できたり、
語り合うことがこんなに

元気を注入して
くれるんですね！

令和5年度は、
全体交流会も
復活できるよう
準備しています。

いっしょに楽しみましょ！

